

6 新製品開発状況について(2017年11月1日現在)

① 自己免疫疾患

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、 米国	フェーズ 1	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (炎症・自己免疫疾患 等)	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-2990	炎症・自己免疫疾患 等	欧州	フェーズ 1	自社創製品

② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請 (2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リスク低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国	申請 (2017年9月)	自社創製品 ヤンセンファーマシューティカルズ (米)に導出
		欧州	申請 (2017年10月)	
	(糖尿病性腎症)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者:ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント(米)
MP-513 (テネグリプチン臭化水 素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請 (2015年4月)	自社創製品
		中国	フェーズ 3	
		欧州	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
	(非アルコール性脂肪性肝炎)	日本	フェーズ 2	
MT-6548	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本	フェーズ 2	アケビア(米)から導入

③ 中枢神経系疾患

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本	フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイ エンシズ(米)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエン ス(米)へ導出
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (大うつ病)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエン ス(米)へ導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州	フェーズ 2	自社創製品
ND0801 (ニコチン/オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル	フェーズ 2	自社創製品
MP-124	神経系用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
ND0701 (アポモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	欧州	フェーズ 1	自社創製品

*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ α 1Aと α 1Bアドレナリン受容体の調節

④ ワクチン

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本	フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日) と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、欧州、 カナダ他	フェーズ 3	自社創製品
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社創製品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社創製品

⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
ノバスタン (アルガトロバン水和物)	選択的抗トロンピン剤 (脳血栓症急性期)	中国	申請 (2017年2月)	自社創製品
MT-4580 (エボカルゼト)	カルシウム受容体作動剤 (維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	申請 (2017年4月)	協和発酵キリン(日)に 導出
	(副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症)	日本	フェーズ 3	
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	サマファーマ(韓)に導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ	フェーズ 2	メルク(米)に導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
MP-157	循環器官用剤	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	日本	フェーズ 1	自社創製品
sTU-199 (テナトプラゾール)	消化器官用剤	欧州	フェーズ 1	ネグマ/シテム(仏)に導出
MT-4129	循環器官用剤 等	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	中国	フェーズ 1	上海医薬集団(中)と 共同研究

2017年度第1四半期決算発表時点(2017年7月31日)からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表 時点	2017年11月1日 現在	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	記載なし	申請 (2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管 疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リ スク低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国	記載なし	申請 (2017年9月)	自社創製品 ヤンセンファーマ シューティカルズ(米) に導出
		欧州	記載なし	申請 (2017年10月)	
MT-5199	小胞モノアミトランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本	フェーズ 1	フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオ サイエンシズ(米)から 導入
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、欧州、 カナダ他	フェーズ 2	フェーズ 3	自社創製品
MT-4580 (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能 亢進症における高カルシウム血症)	日本	記載なし	フェーズ 3	協和発酵キリン(日)に 導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州	フェーズ 1	フェーズ 2	自社創製品
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注射与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州	記載なし	フェーズ 2	自社創製品
ND0801 (ニコチン/ オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル	記載なし	フェーズ 2	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	中国	記載なし	フェーズ 1	上海医薬集団(中)と 共同研究
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注射与ポンプ (パーキンソン病)	欧州	記載なし	フェーズ 1	自社創製品
FTY720 イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴ ニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	削除 (開発中止)	自社創製品 日本はノバルティスファーマ(日)と共同開発、海外 はノバルティス(スイス)に 導出
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (1型糖尿病)	米国、カナダ	フェーズ 2	削除 (開発中止)	自社創製品 ヤンセンファーマシュー ティカルズ(米)に導出
	(肥満・フェンテルミンとの併用)	米国	フェーズ 2		
MP-214 (カリプラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2/3	削除 (ゲデオンリヒ ターとのライセン ス契約変更)	ゲデオンリヒター(ハン ガリー)から導入
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	削除 (千寿製薬との ライセンス契約 解約)	千寿製薬(日)に 導出